

メールニュース

No.23-14
2023年 3月23日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

安保中央
新宿宣伝

安保中央の宣伝（東京・新宿
駅西口）

敵基地攻撃能力保有は憲法違反 岸田大軍拡 NO! 平和・くらしを守ろう 辺野古新基地工事は断念せよ



安保破棄中央実行委員会は 23 日、東京・新宿駅西口で、岸田政権の大軍拡・大増税や辺野古新基地に反対する宣伝・署名行動を行いました。行動には 6 団体、10 人が参加しました。

安保中央の林竜二郎事務局次長は、岸田政権の憲法違反の敵基地攻撃能力保有を批判し、今後 5 年間で 43 兆円の軍事費を国民に負担させる大軍拡・大増税は許せないことを強調。また、大軍拡の下で南西諸島での台湾有事などを前提とした軍事基地化や戦争準備の日米合同演習を批判し、戦争を防ぐ平和外交を訴えました。大軍拡・大増税 NO! やオール沖縄が取り組んでいる辺野古新基地建設断念を求める国

会請願署名への協力を呼びかけました。

宣伝参加者らの訴えでは、全労連の衛藤常任幹事、民医連の木下事務局次長、新婦人の牧中央常任委員、全商連の池田常任理事、平和委員会の千坂事務局長、食品一般ユニオンの北川書記次長がそれぞれマイクを持ち訴えました。

各弁士は、岸田政権の敵基地攻撃能力保有や「戦争国家」づくりなどを批判し、大軍拡・大増税よりくらしを守れと訴え、辺野古新基地中止などの署名の協力を求めました。

通行人がリーフレットを受け取り、署名は 40 筆集まりました。



木更津駐屯地に暫定配備の陸自オスプレイ

○岩国飛行場では、米側の要員により、輸送のために施されていた保護処置の解除、飛行前点検・整備、試験飛行等が 1 機ずつ実施されます。
○岩国飛行場における作業は、通常 1 機当たり約 1 週間程度が見込まれており、作業が終了した機体は順次、1 機ずつ木更津駐屯地に米側の要員によって輸送されます。
○1 機目の機体の輸送時期については、現時点では、3 月中を見込んでいるとのことであり、確定した段階で

陸自木更津駐屯地には現在、11 機の陸自オスプレイが暫定配備されています。
陸自オスプレイについて、防衛省北関東防衛局から木更津市に情報提供がありました。情報提供の内容は次の通りです。

○陸自オスプレイ 3 機の海上輸送のため、2 月下旬に米国を出港した船舶は、3 月 20 日、米軍岩国飛行場に到着しました。

3 月末までに 3 機が配備されると合計 14 機になります。防衛省と木更津市は「5 年以内を目標」に 17 機の暫定配備することと合意し、配備期限は 25 年 7 月となっています。
陸自オスプレイの「暫定配備」は撤回し、各地への飛来・訓練も中止すべきです。

3 月末まで 3 機、合計 14 機

陸自オスプレイ暫定配備中止せよ

改めてお知らせいたします。

那覇軍港に陸揚げオスプレイ飛行強行 県の中止要請無視

沖縄県那覇市の米軍那覇港湾施設（那覇軍港）で 18 日、米海兵隊の MV22 オスプレイ 1 機が陸揚げされました。米船籍の貨物船「GREEN COVE」で輸送されたとみられます。

県には沖縄防衛局から陸揚げ後の事後連絡でした。県はこれまで那覇軍港での航空機の運用に関し、軍港の使用主目的を「港湾施設および貯油所」とした「5・15 メモ」に反するとして離着陸しないよう求めていました。昨年 11 月にもオスプレイは同軍港に運び込まれ、普天間基地へ飛行移動し防衛局に抗議していました。

しかし今回もオスプレイは 20 日、同軍港を離陸しました。県からの飛行中止の要請を無視して飛行を強行したことは、許せません。